

良くしたい！
地域環境
くらし



日本共産党岡山市議会議員

菅原おさむ **通信**

こころ

2020年
11月議会
質問から

Vol.008

2021年1月31日

岡山市北区小山 109-1

電話 086-287-5371

11月定例市議会で菅原おさむ議員は、住民の声をしっかり聴くよう市に求める立場から地域公共交通、メガソーラー、産廃の3テーマで議会質問しました。

地域の足確保に市が主体性を

住民の声でないに聞いて

菅原議員は、桃太郎線沿線の中山・高松地域などでは既にバス路線が無いが便数が少ないところがあることを指摘、住民の足確保のために民間事業者任せではなく市が主体的に動くよう求めました。市は、「桃太郎線を軸とし

た公共交通ネットワーク構築を進めていく」「各駅へのアクセス性向上は、需要を考慮しながら、路線バスや生活交通など様々な手段を、運営主体を含め検討していく」と大まかな方向性を示すに留まりました。「足守駅移設」問題では、市がいったんは駅を移設する案を発表したもの



危険箇所建設ダメ

市は住民守る姿勢を

足守・大井のメガソーラー計画で昨年8月、事業者が環境アクセス手続に入りたいと地元と連絡してきました。

菅原議員は、この事業者が3年前に地元説明会を1回開いたきりで、住民からの質問にも未回答のままなど「地元住民との積極的なコミュニケーション」を取ろうとしないことを指摘。市に事業者への強い働きかけや住民同

意のない計画を中止できるルール作りを求めまし

た。市は、中立の立場で環境アクセス手続の中で意見を述べていくなどと答えました。



建設予定地内には土石流危険箇所・土石流警戒区域があり、住民は災害を一番懸念しています。大井地区連合町内会の皆さんは、学習会や自然や文化を守る地域散策など継続的に取り組んでいます。昨年12月には、経済産業省

の、その後現在の場所で行き違い施設を整備すると方針転換したことで、地元住民の間に混乱が起きています。菅原議員は、最初に行き違い施設を計画していなかった皆さんや、計画変更の説明が不十分なことなど市の姿勢に問題があると指摘し、住民の声を丁寧に聴くよう求めました。市は、今後の地元説明会は地域の意向を踏まえて開催すると答えました。



質問に立つ
菅原おさむ議員(12/8)

に、経過や地域の反対の声を伝えるに行きました。また、建設事業者にも、単位町内会の反対決議書を直接届けて反対の意志は変わらないことを伝えるなど、積極的に活動しています。菅原議員は住民の皆さんと連携し、岡山市が基礎自治体として住民の生命や財産を守る責任をきちんと果たすよう求めています。

お気軽に **ご相談をお寄せ下さい。**

メール osamu_mys4@yahoo.co.jp

携帯電話 090-1337-5981

議会控室 086-803-1707